



松本昌成
公明党市議員

熱中症対策の強化について

問 高齢者の熱中症は自宅内での発症が多く、見守りや声かけ等の予防対策が重要であるが、現在の取組を伺う。

答 介護保険制度でケアマネジャー等が家庭訪問した際に見守り等を実施している。

加えてワンコインお助けサービスの行うシルバー人材センターや、配食サービス事業等を行う事業者にも見守り等をお願いしている。

セカンドブックの推進について

問 セカンドブック事業の導入についてどう考えているか伺う。

答 親子で絵本をめぐりながら読み聞かせを通じてたくさんの方の言葉に触れることは、非常に意義があると認識し

ている。2回目の本を贈るセカンドブック事業も検討していきたい。

ひきこもり支援について

問 ひきこもりの実態、特に中高年層をどのように把握し、課題認識を持っているか伺う。

答 令和7年度の福祉総合相談室におけるひきこもりの相談件数は延べ911件で、各相談窓口等からの情報提供により把握を行っている。中高年層を把握することはなかなか難しいのが現状であり、本人の状況と意向に寄り添った支援を関係機関と連携して行う必要があると認識している。



青山義明
自民党市議員・無所属の会

自主防災会について

問 避難行動要支援者名簿の共有・活用について伺う。

答 地区総代等をキーマンとして平時から自主防災会等の避難支援等関係者で情報共有をし、地域住民への理解促進に役立ててほしい。

問 誰も置き去りにしない地域防災をどう実現していくのか伺う。

答 公共モバイルを活用し、確認の取れていない要支援者が指定避難所への避難が完了しているか、指定避難所内でのサポートが必要かどうか確認する。

西部小学校跡地の利活用と地域コミュニティの承継

問 サウンディング型市場調査の結果を伺う。

答 校舎等を活用し、デイサービス等の医療・

福祉事業とサッカー場等のスポーツ事業を行うという提案があった。

問 閉校式に関する進捗状況等を伺う。

答 今年度末の修了式頃に地域の方にも参加してもらい、子どもたちとその保護者とともに、思い出に残るイベントにしたいと学校は考えている。

街路樹の適切な維持管理と安全対策について

問 枯れた木の「伐採」や「植え替え」をする際の課題を伺う。

答 課題は枯れた原因の特定が困難なこと。植え替え方法等慎重に判断しながら、適正な維持管理に努める。



蒲郡市立蒲郡西部小学校



日恵野佳代
無会派・日本共産党

「指定ごみ袋」の安定供給と市民生活への支援

問 市では指定ごみ袋以外でも、半透明かつ10リットルから45リットルの袋であれば、臨時措置として令和8年7月31日まで使用可能としている。期間が短すぎるのではないか。

答 現在のごみ袋の販売状況や今後の措置の予定を伺う。

問 製造は例年どおり行われているが、一部店舗では一時的に全種類の指定袋が売り切れになったと聞いている。今後の臨時措置については、市ホームページやLINE等で周知をしつつ、供給状況を踏まえながら改めて判断したい。

問 市指定以外のごみ袋の使用期間延長は、いつごろまでに判断する予定なのか。

答 今後の予定については7月中旬から下旬にかけて、できるだけ早い段階で判断していきたい。

問 今回、市が実施したプレミアム付商品券の購入期間の延長や、他の物価高騰対策の追加などは考えているのか。

答 蒲郡市プレミアム付商品券は6月1日から15日まで発売をした。やむを得ず購入できなかった人がいる場合は追加日も検討したい。

物価高騰に対し、引き続き市民の生活を注視し、国や県からの補助金等を活用しながら支援施策を検討していきたい。

